６月幼稚園だより

令和８年６月１日
千代田区立番町幼稚園
園長　美越　英宣



共に歩む中で培う　豊かな育ち

園長　美越　英宣

（番町幼稚園HP）

あじさいの花が雨に映え、木々の緑がいよいよ深まりを見せる季節となりました。しっとりとした空気の中にも、子どもたちの明るい笑顔と元気な声が園内に響き渡り、日々の営みの確かさと尊さを感じております。

さて、5月13日に実施いたしました「親子遠足」におきましては、多くの保護者の皆様に御参加いただき、心より感謝申し上げます。本園では、異年齢の関わりを大切にし、年間を通して様々な活動に取り組んでおり、今回の遠足においても、異年齢グループの中で子どもたちが互いに関わり合いながら活動する姿が随所に見られました。

当日は、元気のないシャーキーのために、「げんきだま」を見付けるべく、6匹の海の生き物たちに会いに行く冒険に出かけました。各所で示された指令―「みんなで洗濯のイメージで体を動かす」「ワカメを取ってくる」「クラゲを逃がさないようにする」「たけのこを生やす」「魚を運ぶ」「自然の中からツルツルやフワフワを見付ける」―は、どれも仲間と知恵を出し合い、力を合わせることによって達成されるものでした。子どもたちは、年齢の違いを越えて声をかけ合い、時に保護者の皆様と協力しながら、一つ一つの活動に真剣に向き合い、見事全てのミッションを成し遂げることができました。その姿には、他者と協働する喜びや、自らの役割を果たす充実感が確かに育まれていることを感じ、大変心強く思いました。

また、本遠足は、子どもたちの育ちを支えるだけでなく、保護者の皆様にとっても、学級内での親睦はもとより、普段関わる機会の少ない他学年の保護者やお子様との交流を深める貴重な機会となることを願い実施したものです。園全体としてのつながりが広がり、温かい関係が築かれていくことは、子どもたちの安心感や意欲にもつながる大切な基盤であると考えております。

続いて、5月30日に実施いたしました「作って遊ぼう」におきましても、多くの保護者の皆様に御参加いただき、誠にありがとうございました。3歳児もも組の魚釣り、4歳児さくら組の車づくり、5歳児うめ組の木工と、それぞれの発達に応じた活動の中で、親子で共にものづくりに取り組み、その後の遊びへと広がっていく様子が大変印象的でございました。

保護者の皆様からは、「親子で遊ぶことをイメージして参加したが、子ども同士で声をかけ合い、誘い合って遊ぶ姿を見ることができてうれしかった」「もっと遊び続けたいと思うほど楽しかった」「普段持ち帰る作品について改めて子どもに問いかけてみたい」といった、嬉しいお言葉を数多く頂戴いたしました。これらのご感想から、ものを「作る」ことが「遊び」へとつながり、より一層人との関わりを豊かにしていく大切な過程であることを、改めて実感いたしました。

さらに、締めくくりとして披露された東京中華学校による中華獅子舞の演舞では、親子で大きな歓声と拍手を送りながら、その迫力ある動きと華やかな表現に心を躍らせるひとときとなりました。園全体が一体となって文化に触れ、感動を共有する経験は、子どもたちの豊かな感性を育む上でも大変意義深いものでございます。

今月は「親子で遊ぼう」の行事を予定しております。保護者の皆様にプロデュースしていただく各ブースを子どもたちが巡り、楽しい一日を過ごす本園ならではの大切な行事でございます。子どもたちにとって心に残る豊かな体験となりますよう、今月も引き続き御理解と御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

梅雨の時期を迎え、気温や天候の変化が大きくなる折、御家庭におかれましてもどうぞご自愛の上、子どもたちの健やかな成長を共に見守って共に見守ってまいりたいと存じます。

